



J R 連 合 NEWS

J R 産 業 に 集 う
す べ て の 仲 間 の
J R 連 合 へ の
総 結 集 を !!

2024 年 度

No. 32

2024年10月17日

日本鉄道労働組合連合会

J R 連 合 第 13 回 安 全 シ ン ポ ジ ウ ム 開 催 !

労使が「人」の性質に向き合い、職場から安全確立の取り組みを創り上げよう

10月4日、J R 連 合 は 京 都 市 内 で「第13回安全シンポジウム」を開催。当日はJ R 連 合 加 盟 単 組 を は じ め、連 合 加 盟 産 別、交 運 労 協 か ら 総 勢 約 250 名 が 参 集 し た。本 シ ン ポ ジ ウ ム で は、「原 点 に 立 ち 返 り、業 務 ・ 労 働 環 境 の 実 情 ・ 変 化 に 即 し た 仕 組 み を 構 築 す る」を テ ー マ に 掲 げ、J R 産 業 に



お け る 安 全 の 位 置 付 け や あ り 方 を 問 う と と も に、夏 以 降 発 生 し て い る 各 種 事 象 に 触 れ、労 働 組 合 が チェック・提 言 機 能 を 果 た し、安 全 確 立 に 向 け て 邁 進 す る 決 意 を 共 有 し た。

冒 頭、J R 連 合 荻 山 市 朗 会 長 が 主 催 者 を 代 表 し「福 知 山 列 車 事 故 か ら 来 年 で 20 年。あ ら ゆ る 場 面 で 不 断 に 安 全 最 優 先 の 取 り 組 み を 続 け る こ と は 決 し て 容 易 で は な く、で き る こ と を や り 切 れ て い る か、日 々 自 問 自 答 す る こ と が 必 要」と 揆 撈。輪 軸 組 立 作 業 に 係 る デ ー タ 改 ざ ん や J R 九 州 高 速 船 で の コ ン プ ラ イ ア ン ス 違 反、東 北 新 幹 線 の 分 離 事 象 等 に 触 れ、「社 会 の 信 用 を 損 な う 事 象 の 発 生 に 強 い 危 機 感 を 持 つ べ き。責 任 追 及 で な く 現 場 第 一 線 で 働 く 組 合 員 が 関 与 す る 中 で 不 正 や 隠 蔽 が 発 生 し て し ま っ た 原 因 や 背 景 を 検 証 し な け れ ば な ら ない。自 分 ゴ ト と し て 捉 え、再 発 防 止 を 図 ろ う」と 呼 び か け た。

第 1 部 で は J R 北 労 組、J R 東 海 ユ ニ オ ン、広 成 建 設 労 組、J R 連 合 よ り、離 職 の 影 響、ア サ ー シ ョ ン 等 に よ る 安 全 意 識 醸 成、教 育 研 修 等 に つ い て 課 題 提 起 を 行 っ た。

第 2 部 で は、関 西 大 学 安 部 誠 治 名 誉 教 授 よ り「事 故 を 減 少 さ せ、よ り 安 全 な 鉄 道 を 創 る」と 題 し、人 や 組 織 で 安 全 を 創 り 上 げ る 必 要 性 等 に つ い て、大 原 記 念 労 働 科 学 研 究 所 松 田 文 子 特 別 研 究 員 か ら は「人 の 性 質 と 安 全」と し て、ヒ ュ ー マ ン フ ァ ク タ ー を 踏 ま え た 安 全 対 策 等 に 関 し 基 調 と な る 講 演 を い た だ いた。

第 3 部 の パ ン ェ ル デ ィ ス カ ュ シ ョ ン で は、安 部 名 誉 教 授 を コ ー デ ィ ネ ー タ ー、パ ン ェ リ ス ト に 基 幹 労 連 嶋 野 俊 博 中 央 執 行 委 員、J R 東 海 安 全 対 策 部 赤 地 靖 彦 次 長 に 加 え、松 田 特 別 研 究 員、J R 連 合 石 川 敏 也 産 業 政 策 局 長 が 登 壇。基 幹 労 連 の 安 全 衛 生 の 取 り 組 み や 労 災 発 生 状 況、J R 東 海 の 安 全 文 化 醸 成 の 取 り 組 み や 事 故 基 準 の 見 直 し 等 を ご 紹 介 い た だ いた う え で、「安 全



J R 連 合
荻 山 会 長

J R 北 労 組
斎 藤 書 記 長

J R 東 海 ユ ニ オ ン
井 形 執 行 委 員

広 成 建 設 労 組
中 原 副 執 行 委 員 長

J R 連 合
石 川 局 長

確 立 に 向 け て、労 使 で ど う 取 り 組 む べ き か」を テ ー マ に、繰 り 返 さ れ る 事 故 を ど う 防 ぐ か、労 働 力 不 足 と い う 環 境 変 化 に ど う 対 処 す べ き か 討 議 し、労 使 が 建 設 的 な 議 論 を 交 わ し 安 全 を 確 立 す る 必 要 性 を 再 認 識 し た。



関 西 大 学
安 部 名 誉 教 授

労 働 科 学 研 究 所
松 田 特 別 研 究 員

基 幹 労 連
嶋 野 中 央 執 行 委 員

J R 東 海
赤 地 次 長

J R 連 合
吉 田 副 会 長

最 後 に、J R 連 合 吉 田 祥 司 副 会 長 (J R 九 州 労 組 執 行 委 員 長) が、労 働 組 合 の チェック 機 能 の 重 要 性 を 述 べ、J R 産 業 の 安 全 意 識 高 揚 を 図 る 想 い を 会 場 全 体 で 共 有 し た。